

5. 頸髄損傷者に対する自動車運転支援マニュアルの作成

自立支援局 第二自立訓練部 肢体機能訓練課 自動車訓練室 小林秀信 熊倉良雄 水谷宣昭
遠藤明宏 新津貴史
自立支援局 第二自立訓練部 肢体機能訓練課 森野徹也 石森伸吾

【はじめに】

自動車訓練室（以下当室）では、自立支援局で提供する障害福祉サービスの利用者、また、独自事業として当病院の入院患者、在宅の肢体不自由者などを対象に普通自動車の運転訓練を行っている。

令和2年度から第3期中期目標として、これまでに蓄積してきた支援や訓練結果、研修会などの各種資料をもとに、地域の医療機関やリハビリテーション施設などでリハビリに携わる方、当事者などに活用してもらうことを目的に、頸髄損傷者に対する自動車運転支援マニュアルの作成を開始し、内容の試行と修正を経て昨年度完成した。ここではマニュアルの内容を報告する。

【マニュアルの内容】

1. 運転免許取得や運転の再開に関する免許制度及び講習制度
新たに運転免許を取得する方の免許制度や、運転免許取得後に病気やケガなどを生じた場合に運転を再開する際の制度の紹介
2. 運転時の支援要領と留意点
運転者の体調管理、車椅子の転倒防止、ハンドル・ブレーキ・アクセル操作、各種運転補助装置の取り扱いの留意点
3. 自動車への乗降と車椅子の積み下ろし方法（C6B1～C6B2クラスを中心に）
車椅子から自動車へ、自動車から車椅子への移乗方法、車椅子の車内と車外への積み下ろし
4. 自動車の選び方
自動車を選択する際の留意点
5. 運転補助装置の選び方
手動（アクセル・ブレーキ）装置、アクセル・ブレーキペダル誤操作防止装置、旋回装置、車椅子積載装置を選択する際の留意点
6. 自動車購入までの流れ及び自動車に関する税、助成、貸付制度など
7. 当センターでの訓練事例及び自動車の購入事例
運転免許取得及び自動車購入事例、運転再開及び自動車購入事例
8. 安全運転相談窓口（旧運転適性相談窓口）一覧

【まとめ】

当室で自動車運転訓練を行った頸髄損傷者の多くから、「自動車が運転できるとは思ってはいなかった」という声を聞く。四肢体幹機能障害を有する頸髄損傷者自身が、自動車の運転が可能となれば生活の幅が広がり、就労や余暇活動などを通して社会参加につながる。そのためには機能に適した自動車や運転補助装置を選択し、「安全」に運転操作を行えることが要件になることから、今回作成したマニュアルを活用し適切な支援方法に基づいた訓練を実施するとともに、地域の医療機関やリハビリテーション施設などでマニュアルを活用してもらえようように広く発信していきたい。